

ほほえみ



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170
URL: <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



基本理念

命を育み、病を癒す、安心で最良の地域医療

基本方針

1. 私たちは、患者さんの命を守り、健康回復とその増進を責務とし、地域医療の充実と発展に努めます。
2. 私たちは、患者さん及びご家族の思いを受け止め、分かりやすい質の高い診療に努めます。
3. 私たちは、説明と同意を大切にチーム医療の推進に努めます。
4. 私たちは、地域医療機関との良好な連携強化に努めます。
5. 私たちは、弛まぬ研鑽と実践的な研修に努めます。
6. 私たちは、今後も地域基幹病院として、医療施設や職場環境の整備、効率的で健全な病院経営に努めます。

診療科の紹介2015

内科



院長 丸田 栄

内科の一分野である代謝・内分泌領域についてご紹介致します。

代謝疾患では、(1)糖尿病、(2)高脂血症、(3)高尿酸血症が大多数です。

(1) 糖尿病…インスリン（ブドウ糖エネルギー活用情報）が無いⅠ型と作用不足のⅡ型があり、検査で血糖やグリコヘモグロビン（HbA1c）高値を認めます。治療が不十分だと、重篤な高血糖性意識障害やアシドーシス（糖利用なく、脂肪酸分解亢進）の急性病状も、知覚や自律神経障害の神経症、失明を来す網膜症、血液透析へ進む腎症など動脈硬化由来の慢性病状も防げません。そこで空腹時血糖130、食後180mg/dl未満、HbA1c7%未満を目標に、食事や運動の自己管理と適正体重維持を頑張り、インスリン分泌刺激、感受性改善、糖吸収障害等の薬剤と各種インスリン注射剤を病状に沿って選択します。合併症のない生活の実現が治療の最終目的になります。

(2) 高脂血症…長期末治療は、動脈硬化性病変（脳梗塞や心筋梗塞など）を生じます。治療は糖尿病と同様生活管理が基本で、抗高脂血症剤併用も考えます。現在新薬も加わり厳格な管理もほぼ可能になっています。

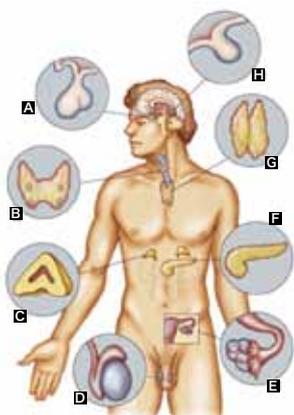
(3) 高尿酸血症…関節内の尿酸が炎症性疼痛を来す痛風が主症状で、進行すると動脈硬化病変も生じます。治療はプリン体減量食事と低下作用薬剤内服が中心です。

以上どの病態も無症状ゆえの放置は禁物です。

内分泌疾患の中で甲状腺の病気の頻度は高く、①刺激型自己抗体でホルモン産生甲状腺細胞が機能亢進病態にあるバセドー病と、②炎症型自己抗体で細胞が脱落し機能低下病態にある慢性甲状腺炎・橋本病が主です。その他、亜急性甲状腺炎、のう胞症、良性腺腫、まれに癌もあります。

内科診療で見る主な内分泌臓器

- A: 下垂体
- B: 甲状腺+副甲状腺
- C: 副腎
皮質+髄質
- (D: 睪丸)
- (E: 卵巣)
- F: 膵臓
- G: 胸腺
- H: 松果体



下垂体では、成長ホルモン産生異常による小人症や末端肥大症、下垂体-副腎ホルモン異常病態、プロラクチンなどの異常による不妊症、抗利尿ホルモン異常の尿崩症などがあります。副甲状腺疾患では血中カルシウム代謝障害を生じます。副腎の病気では高血圧症、血糖異常、ストレス不対応、性機能障害などを見ます。現在、視床下部、松果体、胸腺、心、肝、膵、消化管、腎、血管、脂肪など多臓器でホルモン分泌が確認され、個々の病態も知られてきました。

代謝・内分泌異常かな？と思ったら、当内科受診をご検討ください。

糖尿病は血管の病気



参考HP (<http://www.health-net.or.jp/>)



桐生厚生総合病院 NST十周年記念講演会

10th anniversary

桐生・みどりの栄養と介護を考える会

日時

10月17日 土 16:00~18:30

(受付開始15:00)

場所

ケービックホール・桐生商工会議所6F

桐生市錦町3-1-25 TEL:0277-45-1201

参加無料
定員450名

- 16:00 開会挨拶 丸田 栄 桐生厚生総合病院 院長
- 16:05 話題提供 『経腸栄養管理の最新の話』 イーエヌ大塚製薬(株) 学術部
- 16:20 一般講演 『NST十年のあゆみ~やってきたこと、やるべきこと~』
岡田 克之 (NST executive director/皮膚科)
座長: 石川 弥生 (NST director/看護部)
- 16:30 指名講演 『2つのNSTを経験して~目指すものは1つ~』
長沼 篤先生 高崎総合医療センター消化器内科部長・元当院NST chairman
座長: 松崎 晋一 (NST assistant director/内科)
- 16:50 休憩
- 17:00 特別講演 『高齢者医療の限界に挑む!』
東口 高志 先生 藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座 教授
日本静脈経腸栄養学会 (JSPEN) 理事長
座長: 飯田 智広 (NST chairman/内科)
- 18:00 休憩・会場準備
- 18:10 パネルディスカッション 『チーム医療としての“NST”を再考する』 司会: 岡田 克之
飯田智広/内科 村岡頼子/管理栄養士 石川弥生/看護師
平野浩司/薬剤師 石川有理/理学療法士 田代香奈/臨床検査技師
特別パネリスト: 東口 高志先生
- 18:25 閉会挨拶 村岡頼子 (NST assistant director/食養科長)

共催: (株)大塚製薬工場

後援: 桐生市医師会・桐生市・みどり市・群馬NST研究会・桐生地区口腔ケア研究会

当院のNST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム) が設立十周年を迎え、記念講演会を開催させていただきます。私たちは多職種による“チーム医療”で栄養サポートに取り組み、栄養管理はすべての医療の基本であることを啓発し、学術的にも多くの学会発表を続けてまいりました。振り返れば、日本に『NST』を導入した東口高志先生の「NSTが病院を変えた!」を拝聴したことから機運が高まり、2005年4月、現在に至るNST活動がスタートしたのです。今回の講演会では、当院のNST活動を総括し、元NSTチェアマンの長沼篤先生、そして東口高志先生にご講演いただき、パネルディスカッションも企画しております。当地域におけるNST活動を進める中で、さらなる知識とスキルのレベルアップ、地域連携の推進を図り、さらには群馬県におけるNST活動の発展にも寄与できれば幸いです。

なお、事前参加登録をお願いしております。詳細につきましては、病院HPをご参照ください。

<http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

認定看護師の活躍

現在群馬県内には、34名の感染管理認定看護師が在籍しております。平成27年の認定審査に合格し、当院では2人目の感染管理認定看護師となりました。

私は、脳外科の患者さんが多い6階東病棟に所属し、日常生活に多くの介助が必要な患者さんに関わってきました。患者さんの回復過程をみる中で感染対策が重要であることを認識し、そのような時に感染管理認定看護師の教育を受ける機会を得ることができました。

また近年、エボラ出血熱やデング熱、MERS（中東呼吸器症候群）などの感染症の発生や拡大が話題となり、公衆の感染対策についての関心も高まっています。

感染管理認定看護師は、医療を提供する医療者のみならず、患者さん・ご家族・訪問者はもちろん医療の現場で働くすべての人を感染から守ることが役割となります。患者さんが安心して入院生活が送れ、また、職員が安心して働ける環境づくりのために、医師や看護・薬剤・検査・事務部門などの多職種と協力したチーム活動が重要になります。

私の強みは、病棟に所属し、他のスタッフとともに入院患者さんに対するケアの中で、実際に感染対策を実践していることだと思います。その中で、習得した専門的な知識と技術に基づいて、実践可能な感染対策をスタッフや他部門と協働し検討していきたいと考えています。



感染管理認定看護師

やまだ

山田 あゆり



緩和ケア認定看護師

いがらし ちよこ
五十嵐 千代子

現在日本の死因の第1位はがんです。また生涯のうちのがんに罹患する可能性として、男性の2人に1人、女性の3人に1人と推測されています。日本人にとって、がんは国民病といっても過言ではない状況となっています。このような状況の中で緩和ケアという言葉を知ると、『がんの治療ができなくなった方への医療』『がんの終末期に受けるもの』とイメージする方もおられると思います。しかし緩和ケアはがんと診断された時から、治療中、治療後そして人生の最期を迎える長い経過のあらゆる時期にケアを受けることができます。

緩和ケアの目的は、がんなどの疾病により身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな苦痛を抱える患者さんやご家族のQOL（Quality of Life: 生活の質）を維持し向上させることです。継続的な緩和治療・質の高いケアを提供することで、苦痛なく安心して患者さんやご家族が前向きにがんにつきあい、その人らしい生活が送れるように支えていきたいと考えています。

また病院やホスピス、介護施設、在宅など、療養の場が多様化するなかで、患者さんやご家族は『慣れ親しんだ家で過ごしたい』『お世話になっていた介護施設で過ごしたい』『病院で過ごしたい』など療養場所を患者さんやご家族が選択して緩和ケアを受けることができます。

私は、患者さんやご家族の意思を尊重し、ニーズに合わせた治療や療養の場の調整が必要であると考えています。病院だけではなく、地域を含めた多職種連携を図り、緩和ケアを必要とする患者さんや家族が安心して療養生活ができるようにサポートを行っていきたいと考えています。

がん征圧・がん患者支援 チャリティーウォークイベント

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 ぐんま に参加します！

日時 10月17日(土) 12:00 スタート
18日(日) 12:00 ゴール

リレー
ウォーク
仲間が交代で
夜通し歩きます

会場 群馬県総合スポーツセンターふれあいグラウンド
(前橋市関根町800)

※イベントの見学は自由にできます。
詳しくはHP (<http://relayforlife.jp/gunma/>) をご覧ください。



昨年(2014年)の参加風景

第10回

ハッピー健康相談室

皆様が、日頃疑問に思っていること、困っていることを気軽に相談できる場所として、ハッピー健康相談室を開催いたします。皆様お誘い合わせのうえお越しください。

日時 12月9日(水) 14:00～16:00

内容 ① 生活習慣病のお話し

担当：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
：生活習慣病予防指導士(看護師)

あらまき けいこ
荒牧 恵子
ふしい なおみ
藤井 直美

② 脂質異常症予防のための食生活

担当：食養科・管理栄養士

こばやし まこと のぎき みつぐ
小林 誠・野崎 貢



■ 場所：桐生厚生総合病院 1階正面玄関脇 情報コーナー

■ 参加費：無料(事前申し込み不要)

■ 駐車場：無料(桐生厚生総合病院の駐車場をご利用ください)

■ 問い合わせ先：地域医療連携室 TEL.0277-44-7150

クリスマスコンサート 開催のお知らせ

今年もリヴィーエル合奏団の方によるクリスマスコンサートを開催します。
クリスマスにちなんだ名曲の数々をお送りいたします。

日時 12月12日(土) 13:00 から

場所 1階エントランスホール(正面玄関付近)

皆様のお越しをお待ちしております。 共済会 文化部

Merry
Christmas

(※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)